

令和8年7月30日
福知山市教育委員会

放課後児童クラブ支援員による児童への暴力行為について

令和8年7月29日（水）、福知山市立の放課後児童クラブにおいて、当クラブに勤務する支援員と利用児童とのやり取りが口論となり、支援員が児童の頬を平手打ちする事案が発生しました。

被害を受けた児童と保護者の方、並びにご関係の皆様には深くお詫び申し上げます。今後は児童のケアを最優先するとともに再発防止に全力で取り組んでまいります。

1 事案の概要

- 発生日時 令和8年7月29日（水）午後0時15分ごろ
- 発生場所 福知山市立 放課後児童クラブ教室内
- 被害児童 当該児童クラブを利用する児童（1名・男子）
- 加害者 当該児童クラブに勤務する支援員（市会計年度任用職員・70代男性）
- 被害状況 児童の左頬を右手で平手打ち、外傷はなし

2 経過（時系列）

- 7/29 12:15 頃 加害支援員と児童のやり取りが口論となり、加害支援員が児童の左頬を平手打ち
- 直後 別の支援員が児童を別室へ誘導し、冷却処置等のケアを実施
- 12:35 頃 児童クラブ代表から連絡を受けた生涯学習課職員が現場に向かい、被害を受けた児童に謝罪及び聞き取り、関係児童・職員にも聞き取り
- 12:45 頃 加害支援員は業務から外れ帰宅
- 13:00 頃 外傷がなかったため、児童はクラブでの活動に復帰
- 15:30 頃 加害支援員に自宅にて事情聴取
- 16:30 頃 被害児童の保護者へ生涯学習課職員及び加害支援員から謝罪、経過説明
- 7/30 8:00 頃 被害児童は通常どおり児童クラブ利用
- 加害支援員は出勤停止措置

3 事案の原因

児童とのやり取り・言動に対し、支援員が冷静さを失い、衝動的に暴力行為に至ったもので、児童の健全育成を担う支援員としての自覚の欠如により発生した。

4 被害児童等へのケア

被害に遭われた児童の心のケアを最優先に取り組むこと、併せて傍に居た他の児童への心理的影響等にも配慮し、当該小学校とも連携したケアを実施していく。

5 再発防止対策

今回の事態を重く受け止め、全ての市立放課後児童クラブにおいて次の対策を速やかに講じ、再発防止を徹底する。

(1) 緊急の代表者会議の実施

全ての市立放課後児童クラブの代表を集め、暴力・不適切対応の防止に関する緊急会議を実施し、児童との適切な関わり方について徹底する。

(2) 支援員間の相談体制の強化

指導等対応に苦慮した時など支援員一人で抱え込まず、クラブ代表や他の支援員、生涯学習課職員に相談するなど、チームで対応する仕組みを強化する。

(3) 巡回・確認の強化

生涯学習課職員による各クラブへの定期的な巡回訪問を強化し、現場の状況把握や支援員の適切な関わりについて巡回支援する。

担当：

教育委員会 生涯学習課

課長 西村

電話 0773-24-7067

令和8年7月30日
福知山市教育委員会

教育長コメント

放課後児童クラブ支援員による児童への暴力行為について

この度、本市の市立放課後児童クラブにおきまして、利用する児童に対し、勤務する支援員が暴力行為を行うという事案が発生いたしました。

被害に遭われた児童、そしてご家族の皆様に対し、多大なる苦痛とご不安を与えてしまいましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

また、本市の放課後児童クラブを利用されている児童及び保護者の皆様に多大なるご心配をおかけし、信頼を大きく損なう事態となりましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

今後の対応といたしまして、第一に、被害児童の心のケアに最優先で取り組むとともに、傍にいた他の児童への心理的影響にも配慮し、学校等と連携して対応してまいります。

加害支援員につきましては、すでに職務から外しており、事実関係の最終確認を経たのち、厳正に対処いたします。

さらに再発防止に向けまして、市内の全放課後児童クラブの代表を集めた緊急会議の開催、支援員が孤立せずチームで対応する体制の強化、そして生涯学習課職員による現場への巡回支援の強化を速やかに実施し、二度とこのような事態を起こさぬよう、全力を挙げて信頼回復に努めてまいります。